



精密金型
製造

追いかける技術にゴールはないが、
そこにお客様の笑顔が待っている

2014
さくら

ミラクルマシンを操る

高校時代、旋盤やフライス盤を使って金属を加工した経験はありましたが、フジタに入社して、コンピュータ制御のマシンングセンターという工作機械に初めて触った時は感動しました。

加工手順をコンピュータにプログラミングし、材料をセットするだけで、自動で工具を取り換えながら、削ったり、穴をあけたり、思い通りに部品を仕上げてくれる。なんて素晴らしい機械なんだと思いましたね。

私たちはこの機械を操り、金型という金属製品を造っています。これは、車の部品など同じカタチの製品を大量に生産するための原型となるもの。製品模型を見て金型の形状をイメージし、プログラミングを考えます。

入社当初は、自分のプログラムに自信がなく、機械が大破する悪夢に悩まされたり、夜中に自動で動いているマシンングセンターを何度確認しに行ったかわかりません。(笑)。

喜ばれるから頑張れる

金型の図面をつくるのも私の役割「こんな製品をつくりたい」というお客様の構想を、頭の中で立体的にイメージし、生産するための金型のカタチや機能、完成した製品の強度までを計算し、設計図におこしていきます。

技術が進歩した今、CAD・CAMという設計ソフトを使えば、正確な図面がスピーディに描けます。マシンングセンターもどんどん高性能になり、精度が高く複雑な加工もより短い時間でできるようになりましたが、これを使いこなすのは私たち人間の仕事です。

「こんなに早く仕上げられてありがたい」と喜んでくれるお客様の顔が見たいから、自分たちの技術をもっとレベルアップしたい。そして私自身、より高度な技術に挑戦しながら、経験してきた全てを若い人に教え、育てていきたい。それも私に与えられた使命だと思っています。



株式会社フジタ
第二製造班 班長

きた やま たか あき
北山 剛章 (46歳)

出身校：射水市立小杉中学校、不二越工業高等学校

座右の銘 失敗なくして、 成功はありえない

私も仕事では数々の失敗をしてきました。その失敗の経験から、いろんな方法を見つけて改善してきました。頭の中だけで考えていても、動いてみないことには、成功するのか失敗するのかわかりません。もし失敗したら、そこから新しい道に進んで行けばいいんです。まずは、失敗を恐れず、自分の思う通りにやってみよう！

取材協力

株式会社フジタ

〒939-0131 高岡市福岡町荒屋敷522

tel. 0766-64-3710

URL <http://www.fujita-k.co.jp/>

■代表者 代表取締役社長 梶川 貴子

■創業 昭和38年

■従業員数 21名

自動車関連部品の鑄造金型・プレス金型の設計製作・アルミなどの金属切削加工。新車やコンセプトカーの試作部品など「新しいカタチ」を造っています。